

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 見附福祉会	代表者	清水 慶太郎	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の周囲に畑や園芸を配し、四季の彩を楽しんでいただくとともに、園芸作業を通じて心身機能の維持・改善効果を期待しています。地域の方々にもご支援いただきながら運営しています。</li> <li>施設の中央には「ベジタブルカフェ」と称したキッチン付きの開放空間を備えています。郷土料理や、趣味活動の場として活用しています。</li> <li>特別養護老人ホームや、グループホームと連携しながら行事なども行っています。</li> </ul>
事業所名	ケアガーデン新幸	管理者	勝沼 秀人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		1			1	1	1	4		8

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	情報や気付きなど記録に挙げ本人の思いを紐解き、プランに反映し、自分らしく楽しみを持ち暮らせるよう取り組んでいく。	情報共有が出来る様に介護ソフトを使用して職員間の情報共有を図った。プランの作成をケアマネのみが作成していた。その為、情報共有が図れなかった。	※意見等は特になし。	個別計画書をケアマネのみが作成するのではなく、現場主体で作成してもらい、プランに反映させる。
B. 事業所のしつらえ・環境	清潔に安全な環境で過ごせる様にマニュアルの整備を行い、感染予防していく。季節感の感じられる設え作りを行う。	清潔に安全な環境で過ごせる様に定期的に整理整頓を行っている。小規模内での季節感を感じられるような設えを心がけている。	推進会議で伺った際は掃除も行き届いており、光や室温も丁度良いと思います。敷地にも緑があり、温かさを感じました。	今後ご利用者が過ごし易く、居心地が良い設え・環境作りを行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	感染症を持ち込まない様に対策を強化しながら、ベジタブルカフェを活用した季節感ある行事の計画や地域イベントの参加を進めていく。地域の方へ事業所のPRを行っていく。	感染症対策を行いながら、地域イベントに参加する事ができた。地域のイベントを確認して行く必要がある。	自作の野菜などを使った行事や葛巻フェスタ等の参加を目にしております。挨拶は心地良く感じますが、少し早足にスタッフさんが通り過ぎる点が気になります。	コミュニティーから地域の年間行事を頂き、来年度計画的に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者のニーズを知り、地域資源を把握し活用できるよう取り組む。また、地域に出向く機会を持ち社会とのつながりを維持できるよう取り組む。	地域資源を把握までするところまでできず。今後も定期的な行事や外出の機会を持ち、社会との繋がりを確認する必要がある。	普段から散歩などの場面を良く見かけます。定期的な会議の中から多々学ばせて頂いております。	C. 同様に地域の年間行事に参加する為に計画的に行事、外出の機会を持つ事により地域資源を把握する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	幅広い職員が会議に出席し、意見を頂いて。サービス向上に活かしていく。	現場職員も会議に参加させてもらい、貴重な意見を聞く事ができた。今後も継続して会議に参加する。	毎回メンバーも多職種であり、情報交換もでき良い機会と思います。事業所課題の他にも地域的な課題が議題に上がると良いと思います。	今後は地域課題も議題の1つとして会議の内容に上げていく。

F. 事業所の 防災・災害対策	昼夜を問わず安全に避難できる方法を職員が確実にできるとともに、近隣施設との協力体制や連携方法も身に付けていく。	定期的に避難訓練の実施を行い、隣接している特養との協力体制や連携方法を確認する事ができた。	他事業所と連携しての避難訓練の実施を通して、対策を自衛消防の心構えを感じます。	職員が順次避難訓練に参加できるように年間計画に基づいて実施していく。
--------------------	---	---	---	------------------------------------